

会 議 録

1 会議名

平成 29 年度第 9 回春日区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 報告事項（公開）

① 春日地区町内会長と春日区地域協議会委員との情報交換会について

(2) 自主的審議について（公開）

① 分科会による自主審議

② 全体会による審議報告

3 開催日時

平成 29 年 10 月 20 日（金）午後 6 時 30 分から午後 8 時 10 分まで

4 開催場所

上越市市民プラザ 第 4 会議室

5 傍聴人の数

なし

6 非公開の理由

なし

7 出席した者（傍聴人を除く。）氏名（敬称略）

- ・ 委 員： 今井 孝、太田一巳、大竹明德（副会長）、金子隆一、渋谷 俊（副会長）
田沢 浩、田中幸晴、谷 健一、新野武宣、野澤武憲、藤田晴子、星野 剛
吉田幸造（会長）、吉田 実、鷺澤和省（欠席 4 人）
- ・ 事務局：中部まちづくりセンター 山田センター長、野口係長

8 発言の内容（要旨）

【野口係長】

- ・ 会議の開会を宣言
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 2 項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、成立を報告
- ・ 上越市地域自治区の設置に関する条例第 8 条第 1 項の規定により、会長が議長を務めることを報告

【吉田会長】

- ・会議録の確認：今井委員に依頼

7時過ぎに中座するので、その後は大竹副会長に委任する。

議題「(1) 報告事項」の「①春日地区町内会長と春日区地域協議会委員との情報交換会について」事務局に説明を求める。

【野口係長】

- ・資料No.1により説明

【吉田会長】

今の説明に質疑を求める。

【谷委員】

自主的審議は3つのテーマを設定しているが、なぜ4つのグループに分かれるのか。

【吉田会長】

前回説明したとおりだが、テーマ数に合わせて3グループにすると、1グループあたりの人数が多くなるので、3つのテーマは念頭に置きながらも、情報交換会ではグループは4つに分かれ審議することになっている。

他にあるか。

(発言なし)

それでは情報交換会については終了する。

次に「(2) 自主的審議について」の「①分科会による自主審議」について事務局に説明を求める。

【野口係長】

- ・分科会の進行手順について説明

— 分科会に分かれて意見交換(60分) —

【大竹副会長】

会議を再開する。

会長が中座しているので進行は、副会長の私が行う。

本日の協議内容の確認と情報共有ということで、福祉グループから発表を求める。

【鷺澤委員】

多くの団体と交流を深め、情報交換をして、地域の活性化のためにやっていく。地域の情報交換だけでなく、他地域も巻き込んで情報交換を行ったり、さまざまな環境や問題で共有できるものに関しては、情報交換をしていこうということである。いろ

いろな団体と交流する中で、春日区の課題を全体で共有して、それを具体的に活かしていこうということである。具体的にどうするかは、道路の雑草を祭りの前だけに行うのではなく、何らかの違ったかたちで環境整備ができないかということである。地域が一体となるために、謙信公祭や、青少年の育成問題について情報交換を共有し、地域協議会が中核となってやれば、地域が活性化すると思う。他の団体から意見を集約して、さまざまな提案をしていく。また、町内会館の活用や、空き家条例も踏まえて、増えている空き家を活用して、高齢者のサロン作りができないかという話が出た。

地域協議会が、まちづくりの中核となった団体になっていき、協議会が提案していくということで、条例上の地域協議会の役割も果たしていこうということである。

【大竹副会長】

多岐にわたった意見で驚いている。次に、観光グループに発表を求める。

【藤田委員】

観光の目玉が非常に少ないということが話に出た。「山鳥毛」もレプリカでもよいので、置いてある状態になるとよい。また「おもてなし武将隊」を有効に利用するような状態にできるとよい。甲冑等の着付け体験や「勝ちどき飯」を食べるような体験ができるとよい。春日山駅の発着時の音楽には、春日山をアピールできるものをかけられたらよい。春日山城跡周辺の駐車場の改善が必要である。お金を落とすところが少ない等の意見も出て、そのように足りない部分をどのように補うかということである。

町内会長さんたちとも、一体感を持てるようなかたちにできたらよいということで、今後につなげられるようにしていきたいということであった。

【大竹副会長】

急に観光客がくるわけではないので、地道に誘致して観光面でも活性化できたらよいと思う。次に、安全安心グループの発表を求める。

【吉田実委員】

話の進め方をどうするかで、ワークショップ形式でアイデアや課題等をポストイットに書いて貼り、仕分けをした。その中で、交通安全の通学路の歩道の環境問題が出た。具体的には木田の踏切で歩道が確保できずに狭いという問題だ。高齢者の問題、防犯、防災、生活などに分類し、防犯ではパトロールの現状と、犯罪が少なくなってきたことや、活動が他に浸透していること、また歩道の暗いところがあることを話した。

次に、独居老人宅がさらになくなると空き家になるところも問題があるということ。高齢者の見守りも必要だということ。安全安心に関する追加の項目は、まだ今後具体的に話をしていきたいと思う。

【大竹副会長】

今日は当然、この検討だけでは生煮えの状態なので、今後は分科会の特性を活用して、公式、非公式でどんどん進めていただきたいと思う。開催の際は事務局に連絡すれば、場所等の確保していただければと思う。

以上で自主的審議について終了する。

その他について事務局に説明を求める。

【野口係長】

- ・次回の協議会について説明

— 日程調整 —

【大竹副会長】

- ・次回の協議会：12月6日（水）午後6時30分から 上越市市民プラザ 第4会議室
その他、皆さんから連絡等あるか。

（発言なし）

- ・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

自治・市民環境部 自治・地域振興課 中部まちづくりセンター

TEL：025-526-1690（直通）

E-mail：chubu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。